

令和 7 年度

定額資金運用基金

審査意見書

紫波町監査委員

紫 監 第 1 4 号
令和 8 年 8 月 2 1 日

紫波町長 鎌 田 千 市 様

紫波町監査委員 熊 谷 順 太
紫波町監査委員 箱 崎 勝 之

令和 7 年度定額資金運用基金審査意見について

地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 241 条第 5 項の規定により審査に付された令和 6 年度定額資金運用基金を審査したので、その結果について別紙のとおり意見を提出します。

目 次

第 1	審査の概要	1
1	審査の対象	1
2	審査の期間	1
3	審査の手続	1
第 2	審査の結果	1
1	紫波町用品調達基金	2
2	紫波町土地開発基金	2
3	岩手県証紙調達基金	3
4	紫波町福祉医療資金貸付基金	3
5	紫波町高齢者等貸付牛購入基金	4
6	紫波町国民健康保険高額療養資金及び出産資金貸付基金	4
7	紫波町介護保険高額介護サービス費等資金貸付基金	5
8	紫波町奨学金貸付基金	5

[凡 例]

- 1 計数については、原則として、表示単位未満を四捨五入している。
- 2 各表中の符号の用法は、次のとおりである。
 - 「－」 … 該当数値がないもの、算出不能なもの
 - 「0.00」 … 数値が0のもの又は該当する数値はあるが単位未満のもの
 - 「△」 … 負数又は減数

令和 7 年度 定額資金運用基金審査意見

第 1 審査の概要

1 審査の対象

紫波町用品調達基金運用状況
紫波町土地開発基金運用状況
岩手県証紙調達基金運用状況
紫波町福祉医療資金貸付基金運用状況
紫波町高齢者等貸付牛購入基金運用状況
紫波町国民健康保険高額療養資金及び出産資金貸付基金運用状況
紫波町介護保険高額介護サービス費等資金貸付基金運用状況
紫波町奨学金貸付基金運用状況

2 審査の期間

令和 8 年 7 月 3 日から令和 8 年 8 月 20 日まで

3 審査の手続

町長から審査に付された令和 7 年度の基金の運用状況を示す書類について、その計数の正確性を検証するため、関係帳簿等との照合その他通常実施すべき審査手続を実施したほか、基金の運用状況の妥当性を検証するため、関係書類を審査した。

第 2 審査の結果

審査した結果は、次のとおりである。

令和 7 年度の基金の運用状況を示す書類の計数は、関係帳簿等と照合した結果、誤りのないものと認められた。また、基金の運用状況は概ね妥当であると認められたものの、既に役割を終えたと思われるものがあったことを申し添える。

令和 7 年度の各基金の運用状況は、次のとおりである。

1 紫波町用品調達基金

当基金は、事務用品等を集中購買することにより、物品の取得及び管理に関する事務を円滑かつ効率的に行うために設置されたもので、平成 29 年度に 200 万円を減額し、基金額 200 万円で運用されている。

令和 7 年度の運用の状況は、次のとおりである。

(単位：円)

区分 項目	前年度末現在高	当年度の状況		当年度末現在高	売上利益
		増 加	減 少		
用 品	1,096,511	247,500	636,124	707,887	—
現金預金	903,489	639,761	247,500	1,292,113	3,637
計	2,000,000			2,000,000	3,637

(注) 用品欄の増加は仕入高を、減少は払出高を示す。

令和 7 年度の売上高は 639,761 円、仕入高は 247,500 円で、前年度に比較すると、売上高は 20,593 円 (3.1%)、仕入高は 531,630 円 (68.2%) の減少となっている。

また、売上利益は 3,637 円で、前年度に比べ 3,217 円 (866.0%) の増加となっている。売上高に対する基金回転率は 0.32 回 (前年度 0.33 回) で前年を下回っている。

なお、当年度中の売上利益 3,637 円は、一般会計に繰り出している。

2 紫波町土地開発基金

当基金は、公用若しくは公共用に供する土地又は公共の利益のために取得する必要のある土地をあらかじめ取得（その取得に係る補償を含む。）することにより、事業の円滑な執行を図るために設置されたもので、基金額 4 億円で運用されている。

令和 7 年度の運用の状況は、次のとおりである。

(単位：円)

区分 項目		前年度末 現在高	当年度の状況		当年度末 現在高	運用利益
			増 加	減 少		
土地	面積	m ² 283.19	m ² 0	m ² 283.19	m ² 0.00	
	価額	4,474,402	0	4,474,402	0	80,164
補 償		0	0	0	0	
現金預金		395,525,598	4,474,402	0	400,000,000	1,687,500
計		395,525,598	4,474,402	0	400,000,000	1,767,664

(注) 土地の価額及び補償の項の増加の和は仕入れ高を、減少の和は払出し原価を示す。

令和 7 年度は、道路用地 283.19 m²引渡しによる 80,164 円の利益、基金 4 億円の運用による受取利息（営業外収益）1,687,500 円を一般会計に繰り出している。

3 岩手県証紙調達基金

当基金は、岩手県証紙の売りさばきを円滑かつ効率的に行うために設置されたもので、基金額 150 万円で運用されている。

令和 7 年度の運用の状況は、次のとおりである。

(単位：円)

区 分 項 目	前年度末現在高	当年度の状況		当年度末現在高
		増 加	減 少	
県 証 紙	734,810	5,595,000	5,655,440	674,370
現 金 預 金	765,190	5,655,440	5,595,000	825,630
計	1,500,000	11,250,440	11,250,440	1,500,000

令和 7 年度の県証紙の売上高（売りさばき高）は 5,655,440 円で、前年度より 905,540 円（13.8%）減少している。これに伴う一般会計歳入の県証紙売りさばき手数料は 184,634 円で、前年度より 45,886 円（20.0%）の減少となっている。

なお、売りさばき高に対する基金回転率は 3.77 回（前年度 4.37 回）である。

4 紫波町福祉医療資金貸付基金

当基金は、町が行う医療費助成事業の受給者で一部負担金の支払いが困難な人を対象に、助成対象見込額を限度として無利子で貸付けを行うために設置されたもので、基金額 350 万円で運用されている。

令和 7 年度の運用の状況は、次のとおりである。

(単位：円)

区 分 項 目	前年度末現在高	当年度の状況		当年度末現在高
		増 加	減 少	
貸 付 金	69,660	551,530	621,190	0
現 金 預 金	3,430,340	621,190	551,530	3,500,000
計	3,500,000	1,171,720	1,171,720	3,500,000

令和 7 年度の貸付けは 41 件、貸付額は 551,530 円で、前年度と比較して件数は 8 件、金額は 36,050 円（7.0%）の増加となっている。

5 紫波町高齢者等貸付牛購入基金

当基金は、高齢者等肉用牛飼育事業に供する貸付肉用牛を適正かつ効果的に購入するために設置されたもので、運用収益を積み増し、基金額 2,714 万円余で運用されている。

令和 7 年度の運用の状況は、次のとおりである。

(単位：円)

区 分 項 目	前年度末現在高	当年度の状況		当年度末現在高
		増 加	減 少	
貸 付 金	0	0	0	0
現 金 預 金	27,141,431	3,770	0	27,145,201
計	27,141,431	3,770	0	27,145,201

令和 7 年度の貸付実績はない。また、基金のうち 1,500 万円の運用による営業外収益 3,770 円を一般会計に繰り出したのち、基金に編入している。

6 紫波町国民健康保険高額療養資金及び出産資金貸付基金

当基金は、入院等の高額な医療費及び出産費用の支払いが困難な世帯を対象に、高額療養費又は出産育児一時金の支給見込額を限度として無利子で貸付けを行うために設置されたもので、基金額 520 万円で運用されている。

令和 7 年度の運用の状況は、次のとおりである。

(単位：円)

区 分 項 目	前年度末現在高	当年度の状況		当年度末現在高
		増 加	減 少	
貸 付 金	0	0	0	0
現 金 預 金	5,200,000	0	0	5,200,000
計	5,200,000	0	0	5,200,000

令和 7 年度の貸付実績はない。

7 紫波町介護保険高額介護サービス費等資金貸付基金

当基金は、介護サービスを利用した際の自己負担額が一定の基準を超えた場合に支給される高額介護サービス費が概ね2ヵ月後に支給されるため、自己負担額の支払いが困難な者を対象に、高額介護サービス費の支給見込額を限度として無利子で貸付けを行うために設置されたもので、基金額は平成21年度に250万円を減額し、50万円で運用されている。

令和7年度の運用の状況は、次のとおりである。

(単位：円)

区 分 項 目	前年度末現在高	当年度の状況		当年度末現在高
		増 加	減 少	
貸 付 金	0	0	0	0
現 金 預 金	500,000	0	0	500,000
計	500,000	0	0	500,000

令和7年度の貸付実績はない。

8 紫波町奨学金貸付基金

当基金は、学校教育法に規定する高等学校、大学、高等専門学校又は専修学校に在学し、人物、学業が優れ、かつ、健康であって経済的な理由により就学が困難な人を対象に、月額4万円を限度として無利子で貸付けを行うために設置されたもので、基金額9,700万円で運用されている。

令和7年度の運用の状況は、次のとおりである。

(単位：円)

区 分 項 目	前年度末現在高	当年度の状況		当年度末現在高
		増 加	減 少	
貸 付 金	43,784,000	7,680,000	9,213,000	42,251,000
現 金 預 金	53,216,000	9,213,000	7,680,000	54,749,000
計	97,000,000	16,893,000	16,893,000	97,000,000

令和7年度の貸付けは198件、貸付額は7,680,000円で、前年度と比較して62件の増加、1,400,000円(26.5%)の増加となっている。